

櫻園通信 7. 平成 25 年 10 月

東京都健康長寿医療センター
 養育院・渋沢記念コーナー
 連絡先: 老年学情報センター



よく知られた
 養育院開設の一般的な説明。
 しかし・・・

養育院は、1872（明治5）年にロシア皇太子アレクセイが来日する直前、街中に乞食等が徘徊するのを帝都の美観を損ねるものとし、外交上・治安上の理由で約240人の乞食・浮浪者を本郷の旧加賀藩邸に隔離収容したことから始まる。

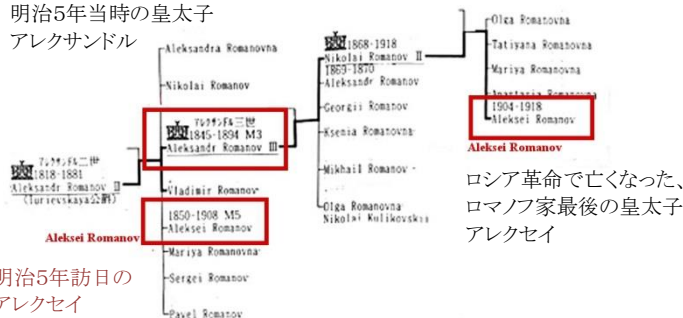
実は、明治5年訪日のアレクセイは皇太子ではありません。

当時、ロシアの皇太子は、第2皇子アレクサンドル・アレクサンドロヴィチ・ロマノフです。（長男ニコライは病死）。

来日したアレクセイは四男で、皇太子ではありません。

皇太子ではなく、皇子または大公（＝君子一門の男子）と呼ぶのが正しい表現です。

明治5年当時の皇太子
 アレクサンドル



ロシア革命で亡くなった、ロマノフ家最後の皇太子アレクセイ

明治5年訪日のアレクセイ

では、養育院は明治5年開設の浮浪者収容施設から始まるという説明はどうでしょう？

渋沢栄一の養育院長就任から出発し、養育院前史をさかのぼってみます。

院長渋沢栄一は、東京府議会やマスコミの養育院廃止論（財政圧迫、惰民養成）という逆風の中、院の存続に奮闘。分院・専門施設を次々開設。91歳で亡くなるまで、約50年間院長を務め、養育院事業を拡大していった。



渋沢栄一による
 養育院事業の展開

養育院開設から7年後、渋沢栄一が養育院院長に就任。

1879(明治12)年

養育院の事務長は院長に改称。この職制改定で、渋沢栄一は養育院院長に。

1876(明治9)年

渋沢栄一、養育院事務長に就任



渋沢栄一に引き継がれた新・病幼院「養育院」。

アレクセイ大公訪日直前に浮浪者を集めて収容。營繕會議所附属養育院と命名。

1872(明治5)年

大久保一翁東京府知事が、東京の貧民の救貧対策を營繕會議所に諮問。營繕會議所は、病人・老人・浮浪児を保護する施設の設置を含む「救貧三策」を答申。

明治政府は共有金（＝七分積金）を管理する組織「營繕會議所」設立。

大久保一翁(忠寛)の「病幼院」プランは、養育院として実現。



大久保一翁(忠寛)

1869(明治2)年

明治政府は、七分積金により貧民を収容する教育所を三田・麴町・高輪に設置。しかし、逃亡者が相次ぎ、費用の維持も困難で、明治5年に廃止。

1868(明治元)年

明治維新 幕府の実質的最高位(会計総裁 若年寄)であった**大久保一翁**が、江戸の困窮者救援資金**七分積金**を含む幕府の財産を明治政府に引き継ぐ。



徳川慶喜、静岡藩に蟄居。静岡藩中老となった大久保一翁、欧州帰りの渋沢栄一を呼び静岡藩勘定組頭に任命。

1867(慶応3)

坂本龍馬は、大久保一翁の大開国論より「船中八策」を作成。西郷隆盛らに大政奉還論を説く。船中八策を基にした山内容堂「大政奉還建白書」により、将軍徳川慶喜大政奉還を朝廷に奏上。

1864(元治元)年

大久保忠寛、家督相続し、**大久保忠寛、一翁に改名。**名を一翁と改める。



1863(文久3)年

大久保忠寛、屋敷を訪れた土佐浪人5人。そこで忠寛の大政奉還論を聞かされ、深く感銘をうけた浪人が、坂本龍馬。

幕府の中で大政奉還論(諸侯会議・公議政体論)を唱えた大久保忠寛、幕末の混乱の中で、左遷と登用を繰り返す。

大久保忠寛



1857(安政4)年

大久保忠寛(目付・海防掛・蕃書調所総裁)、平山敬忠の素案を加筆修正した、「**病院創立意見**」を幕府に提出。しかし直後に忠寛は長崎奉行に任命されるも拒否。左遷させられる。西洋の社会救済制度を参考にした病院プランは実現せず。

幕末、大久保忠寛により「西洋式の貧院・病院・幼院」の知識が、具体的な新施設プランとして浮上。

オランダ語による蘭学から、英語をメインにした洋学へ

1853(嘉永6)年
黒船来航



幕末開港後、欧米諸国の重圧を感じる幕府は、オランダ以外の各国語(とくに英語)による洋学の必要にせまられた。洋学の中心機関として蕃書調所が設置され、外交担当官の養成・洋書翻訳・海外事情の研究が盛んに。

1790(寛政2)年

松平定信(老中)、江戸の貧窮者の保護資金積立制度「**七分積金**」発足。

職方外紀により日本に伝わった西洋式の貧窮者保護制度「貧院・病院・幼院」の知識

1700 年ごろ?

職方外紀が日本に渡来。鎖国体制の中で禁書とされたが、西洋の知識に飢えていた人々は争って本書を伝写し、蘭学者の間に、政治・学問・教育・福祉の理想形としての西洋観が広まる。ヨーロッパの社会救済制度を解説した記述にある「貧院」「幼院」「病院」という言葉は本書によって蘭学者の間で使われるようになった。現代の日本で使われる「病院」という言葉はここから。

1623 年



イエズス会士のイタリア人艾儒略(Giulio Aleni, 1582-1649)が編纂した世界地理書「**職方外紀**」、明(中国)で刊行。